

# 平成28年度 山口県教育委員会予算案発表



発行 山口県教職員団体連合会  
 代表者 小坂 朝之  
 編集人 山本 純  
 山口市大手町教育会館内  
 電話 (083) 922-2049番  
 FAX (083) 921-0907番  
 E-mail: kyoren@orange.ocn.ne.jp  
 ホームページ http://www.kenkyouren.com



2月17日(水)に県教育委員会は平成28年度予算案を発表しました。主に、「やまぐち型地域連携教育」の強化推進、学力向上、いじめ・不登校対策、特別支援教育、高校生の人材育成やインターハイ関連等に対応していくための予算編成となっています。

県の一般会計予算が前年度比でマイナスとなっている中で、教育委員会所管の予算は若干のプラスとなっています。また、これまで県教連が交渉や要望等で求めた内容に関して、新規事業や改善・拡充といった形で反映されています。

## 主な新規事業

### ◇やまぐち型

地域連携教育強化推進事業  
 ・山口CSコンダクターを13市に加え、周防大島町と熊毛郡3町(兼務)に各1人で合計15人を配置(和木町・阿武町は近隣市で兼務)  
 ・山口CSコンダクターの活動を支援する統括コンダクター(山口CSコンダクターが兼務)を2人配置  
 「やまぐち型地域連携教育」について県民への周知を図り、推進気運を醸成するため、山口地域連携教育の集いを開催

### ◇遊び・運動大好き!

やまぐちっ子育成事業  
 ・モデル校(小学校7校)で、体力向上の重要な要素である「遊び」等を中心とした実践研究

### ◇インクルーシブ教育システム

合理的配慮協力員を県内7地域の拠点校に5人ずつ、合計35人を拡充配置(学級支援補助教員活用事業の切り替え)  
 ・特別支援教育センターを設置する総合支援学校に外部専門家を招聘し、障害の程度が重度である児童生徒に関する相談支援を充実

### ◇特別支援学校

「山口県技能検定」開発事業  
 ・総合支援学校の卒業生の就職状況や県内企業等の求めるスキル等を踏まえた独自の技能検定「特別支援学校技能検定」の開発

### ◇総合支援学校への

コミュニティ・スクール導入・設置  
 ・H30までに県内総合支援学校にコミュニティ・スクールを導入・設置するための理解促進

### ◇やまぐちの活力を支える

高校生育成事業  
 ・県内就職ガイダンス等充実事業  
 ・就職サポーターを公立高校25人、私立高校7人配置、チーフ就職サポーターを県東部・西部に各1人ずつ配置

総合支援学校就職支援コーディネーターを県東部・西部・西部に各1人ずつ、合計3人配置

### ◇平成28年度全国高等学校総合体育大会開催費

岡山県を主会場に、中国各県、県高体連及び関係団体と一体となって開催準備を進めると同時に、全ての高校生が「一人一役」で積極的に大会を支える「高校生活動」を推進

### ◇知・徳・体の調和のとれた教育の推進

学習指導要領趣旨徹底事業  
 ・英語教育強化事業  
 ・モデル地域(1市町)における土曜カリキュラム実践研究支援  
 ・小中一貫教育推進事業

### ◇学力向上等支援員の配置

学力向上支援、特別支援教育支援80人  
 ・生徒指導・相談体制の充実  
 ・児童生徒支援加配の重点加配135人  
 ・生徒指導緊急加配教員の配置5人  
 ・危機管理緊急加配教員の配置2人

### ◇いじめ・不登校等対策強化事業

全ての公立学校の児童生徒がスクール・カウンセラーに相談できる体制の整備  
 ・全市町へのスクール・ソーシャル・ワーカーの配置

## 質の高い教育環境づくりの推進

◇教員資質能力向上推進事業  
 ・新卒採用者対象「採用前教職インターンシップ」の実施  
 ・山口大学教職大学院と共同での公開講座の開催

### ◇教員人材確保の推進

県内外の大学生、他県教員及び民間企業従事者等対象の、やまぐち教職ガイダンスを実施  
 ・県内の公立・私立高校等の希望する生徒と保護者対象の高校生教職セミナーを開催

### ◇事務長の設置

市町立小・中学校の事務の共同実施の総括となる「事務局長」設置(H28で計画的配置終了)

### ◇生涯にわたる県民総参加の教育の推進

「地域協育ネット」による温かい絆づくり推進事業  
 ・学校・家庭・地域の教育支援活動実施の連絡調整役としての統括コーディネーターの配置  
 ・年間10回程度、エンジニアによる算数講座や在外経験者による英会話などの土曜日の教育活動支援事業

昨年度人数が減っていた「学級支援補助教員活用事業」が新規事業として「合理的配慮協力員」という形になり、人数も21人から35人と増員されていること、生徒指導関連の加配も1人増員されていることは、県教連が要望した成果と言えます。

しかし、学力向上、支援を要する児童生徒への対応や各種報告会議・研修会の調整精選など、まだまだ課題は山積しています。これらの諸課題の改善、そして、会員の皆さんに「子供と向き合う時間」が確保されるよう、今後引き続き、粘り強く要望・交渉を続けてまいります。

## 会員の皆様へ

### 県教連会員の 不祥事に係る緊急提言

私たち県教連会員は、「子供に夢を職務に誇りを」という理念のもと、未来を担う子供たちのことを第一に考え、教育専門職としての誇りを胸に、学校現場の第一線で山口県教育を支えていると自負しています。ところが先般より、山口県内で教職員の不祥事が続けばまに報道され、暗澹たる思いでした。そのついで、周南市の学校事務職員が給食費等の着服により懲戒免職になるという報道がありました。この事実が判明し衝撃を受けました。

私たち県教連会員は、県民の皆様への期待に応えるべく教育を推進することを誓い、自らの資質の向上を常に目指しているところです。しかし、今回のような形で県民の皆様への期待を裏切ってしまったことは、大変遺憾であり、お詫び申し上げなければなりません。

私たち教職員は、教育公務員としての責務を全うしなければなりません。そして、教育に携わる者として、子供たちに見せる背中、人としてお手本となるものでなければなりません。そのために、教職員としての資質向上を目指して、日々職務や研修に真摯に取り組んでいく必要があります。私たち県教連会員は、今度自分自身を見つめ直し、県民と何より子供たちからの信頼の回復に向けて努力し、県教連の名譽と誇りを取り戻すために邁進しなければなりません。会員の皆様、今後の県教連活動についてご理解とご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。

平成28年2月

山口県教職員団体連合会(県教連)  
 委員長 小坂 朝之